～工場セキュリティガイドライン啓発・連続セミナ～

第１３回：製造業/工場サイバーセキュリティ向上の取組み事例紹介

Edgecross コンソーシアムと東京大学グリーン ICT プロジェクトの合同 WG である工場セキュリティ WG が公開した、「工場セキュリティガイドライン 概要編」の内容を啓発する活動の一環で、公開セミナの第１３回目を下記のとおりに開催いたします。
工場のセキュリティ対策を学ぶ機会として、ぜひご活用いただければ幸いに存じます。
参考）工場セキュリティガイドライン 概要編
https://www.edgecross.org/client_info/EDGECROSS/view/userweb/ext/ja/data-download/pdf/ECD-TE4-0009-02-JA.pdf

日時：2024/12/6(金)　17:30～19:20
場所：東京大学 本郷キャンパス 工学部２号館
※オンライン Webinar とハイブリッド開催

17：30～17：35
冒頭のご挨拶：工場セキュリティ WG リーダー、
NEC セキュリティ　IoT/OT セキュリティユニット　ディレクタ
桑田　雅彦様

17:35～18:00
講演 1：自工会/部工会サイバーセキュリティガイドラインについて
講演者：日本自動車工業会 総合政策委員会 ICT 部会 サイバーセキュリティ分科会　古田 朋司様
概要：自動車業界は、幅広いサプライチェーンが特徴です。サイバーセキュリティのリスク対策は、企業単独では不十分であり、サプライチェーン全体での対策が必要です。また、サプライチェーンを狙った攻撃も実際に多く発生しています。自動車業界では、業界一丸となって対策を進めるため、業界標準のセキュリティガイドラインを作成し、サプライチェーン全体への展開を進めています。
今回は、その内容と推進上の工夫点や課題についてご説明いたします。

18:00～18:25
講演 2：業界ごとの工場システムの構成と特徴解説
講演者：クラロティ アジア太平洋・日本地区 営業部　加藤 俊介様
概要：工場システムにおけるセキュリティー対策を進めていく上では、工場システムの構成や役割についての理解が重要と考えます。工場システムにおいて使用される基本デバイスやシステム名称とその役割、業界ごとの構成と特徴について解説いたします。

18:25～18:50
講演 3： 人の脆弱性に着目したセキュリティ対策
講演者：日立チャネルソリューションズ株式会社 情報セキュリティ統括センタ長　緒方 日佐男様
概要：自社の経験上、サイバーインシデントの発生原因である人の管理不備 （人の脆弱性）が、監査やシステム開発・運用現場で多々見受けられます。
その根本原因は以下に示す人の能力限界であり、他の業務と共通であることが分析で分かりました。

（a）人の理解限界：なぜ必要なのかの理解不足、理解に時間がかかること
（b）人の管理限界：人の能力を超えた管理項目数と管理工数がかかること

上記の根本原因で人の管理不備が生じて、システムの脆弱な状態が外部に露出した状態で放置されると、クローリング等により攻撃者に見つけられて侵入される、あるいは、意識の低い技術者によりマルウェアが仕込まれた 便利ツールを勝手に取得される、といったことが多々起きていると分かりました。

そこで、弊社では人の理解限界と管理限界を考慮したセキュリティ対策に取り組んでおり、その状況とポイントについてご説明いたします。

18:50～19:15
講演内容に関する議論(講演者＋桑田様による）

19:15～19:20
締めのご挨拶：工場セキュリティ WG リーダー、
NEC セキュリティ　IoT/OT セキュリティユニット　ディレクタ　桑田 雅彦様

参加申込：
事前に申込みが必要です。
申込み方法は下記よりお願いします。
https://forms.office.com/r/ruJi464hnZ